

2014年5月5日
日立オートモティブシステムズ株式会社

メキシコ合衆国メキシコ州に自動車機器システムの新工場の建設を開始

日立オートモティブシステムズ株式会社(取締役社長兼 COO:佐藤 寛)のメキシコ合衆国におけるグループ会社のひとつである日立オートモティブシステムズ メヒコ可変資本株式会社(取締役社長:島岡 工)は、本日、メキシコ州レルマ市にて、自動車機器システムを製造する新工場の建設を開始しました。

メキシコは、中南米を含む米州全域向けの自動車製造拠点として発展を続けており、海外自動車メーカーの工場進出が増加しています。これに応じて自動車機器システムメーカーも、メキシコにおける生産能力の確保とともに、地域のニーズに対応するため、一層の現地化が強く求められています。また、NAFTA(メキシコ、米国、カナダの北米自由貿易協定)や、メルコスール(アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ)とメキシコ間で締結された特惠貿易協定(ACE55号)により、無関税で自動車部品を輸出できる環境が整っていることから、自動車機器システムメーカーのメキシコへの進出が活発になっています。

今後メキシコで増加する自動車生産への対応や、特惠貿易協定を活用した米州全域の自動車メーカーへの供給を一層強化するため、日立オートモティブシステムズ メヒコ可変資本株式会社としてはメキシコ国内で3番目、日立オートモティブシステムズグループとしては5番目の新工場を設立します。

新工場の建設のため、日立オートモティブシステムズ メヒコ可変資本株式会社は、メキシコ州レルマ市内に約18万平方メートルの敷地を確保するとともに、2015年5月より自動車部品のピストンおよびアルミダイキャストの製造を開始し、以降、生産品目を拡大していく予定です。

日立オートモティブシステムズはこれからも、メキシコでの自動車機器システム事業のさらなる拡大を図っていきます。

■メキシコ州レルマ市に建設する新工場の概要

名称	日立オートモティブシステムズ メヒコ可変資本株式会社 第3工場 (2014年4月にユニシアメヒカーナ可変資本会社より社名変更)
所在地	メキシコ州レルマ
製品	自動車用のピストンおよびアルミダイキャスト部品 (生産品目を順次拡大予定)
敷地面積	約18万平方メートル
生産開始	2015年5月 予定

■メキシコ国内の日立オートモティブシステムズ グループについて

名称	日立オートモティブシステムズ メヒコ可変資本株式会社	日立オートモティブシステムズ ケタロ可変資本株式会社	エレクトロニカ クラリオン 可変資本株式会社
所在地	メキシコ州 レルマ	ケタロ州 ケタロ	本社 メキシコシティ 工場 ケタロ州 サン ファン テル リオ
代表者	島岡 工	梨本 成利	Joaquín Loose
設立年月日	1979年3月	2012年7月	1983年11月
主要製品	第1工場:ポンプ、 バランサー他 第2工場:点火コイル他 第3工場:ピストン、 アルミダイキャスト	サスペンション、 ブレーキ他	車載用オーディオ機器、 エンジンコントロールユニット他
従業員数 (2014年3月)	約1,320名	約200名	約1,680名

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
